

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
木葉		2026年 2月 13日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・法に基づき適切に対応している。 ・日々の利用人数の変動により部屋を移動する場合がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・利用状況に応じて変動有り。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・バリアフリーの対象者が現在いない。 ・段差などはあるが、情報を伝達し対応している。 ・わからない時がある場合は声かけ等を行う。	・利用者さんも清潔に使用出来るように声を掛ける。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・使用する物を分かりやすくしている。 ・清潔な環境を保つようにしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・静かな場所がよい利用者にはその時々で場所を変えている。 ・使用可能な部屋を複数用意し、着替えやクールダウンに使用して頂いている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		・情報共有している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・朝礼やミーティング等を通して共有し、業務改善に繋げている。 ・頂いた意見を検討し、出来る範囲で寄り添えるようにしている。 ・送迎時などにもコミュニケーションをはかり、全体で共有している。 ・職員会議有り。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・朝礼、職員会議等にて報告、共有する。 ・意見の確認、改善の為話し合いが行われている。 ・ミーティングなど自分の意見を伝える場がある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	・必要に応じて対応。	・必要に応じて対応。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・研修した内容を都度共有している。 ・外部研修に参加し、内部研修に繋げたり、内容を全体周知している。 ・受講したい研修を伝える事もできる。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・ホームページにて記載。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・個々に必要な支援を話し合い、計画している。 ・必要に応じて相談を行い、本人だけでなく、外部（保護者、学校）からも話を聞く場合もあり。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・日々の活動内容の共有、個別支援会議等での話し合いから最善を考えている。 ・会議に参加する及び情報共有する。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・すぐに確認できる場所に保管している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・職員間で相談している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・会議等相談し、進めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・マンネリ化しないように適度に相談し、活動を変えている。 ・複数の職員で日々、内容を振り返り、案を出し合っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・必要に応じて行っている。 ・いつもと違う様子など朝礼で共有し、支援に繋げている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・毎日朝礼をし、一日の流れを想定し、支援を行っている。都度、連絡し合う。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・朝礼に共有し、次の支援に繋げている。 ・業務日誌に気付きを記入し、改善などに努めている。 ・終了後か翌日の朝礼で情報共有が連絡ツールを使用する。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・活動記録票を活用。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・会議を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7		・必要な組み合わせを行う。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・作業課題を日により、選択制にするなどしている。 ・選択枠を増やすよう支援している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・会議前に様子の確認を職員間で行い、参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・医療との関わりはうすいのが現状ではあるが、相談できる機関との関わりはある。 ・医療面では不十分であると感じるが、学校などと情報共有をする。 ・医療ケアを必要とされていない事が多いが今後対応する必要がある。あれば行う。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・必要の際は学校に送迎予定時間を伝えている。必要とされる方法を使い、調整を行っている。 ・教育機関などとはこまめな情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		・必要な利用者さんに対しては保護者を介してや、電話にて聞き取りをすることもある。 ・必要に応じて対応を行う。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		・必要な方は行う。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		・研修に参加する。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7	・公園などで遊ぶ機会はあるが、行事として取り入れてはいない。 ・散歩や公園で活動中、挨拶は行うが一緒に活動する機会は少ない。 ・必要に応じて対応していく。	・必要に応じて対応していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		・参加している。	

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・記録や送迎の際に伝えている。 家族支援にて話し合う。 ・相談を行ったり保護者と話す機会を増やしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		・日々の活動記録に記載、相談の際に伝えている。家庭でできる事の提案を行っている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約の際、必要に応じて行う。 ・説明を行い、質問にも対応する。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			・子供が集中できる範囲で支援を行う。 放課後等デイサービス、自宅とのメリハリがつく生活習慣へと促せる環境を作る。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・相談ごとがあれば都度行っている。保護者と話す機会を増やしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		7	・今時点では希望なし。希望や必要に応じて対応する。 ・希望がなく、開催はしていない。	・希望や必要に応じて対応する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・玄関に苦情相談窓口を記入した用紙を掲示している。苦情窓口にて対応。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・HPにて公表している。SNSも活用。	・HPのあり方を土曜活動記載のみでなく季節ごとの様子を発信する等、違う形の発信を検討。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・分かりやすく対応する。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		・地域の活動への参加経験あり。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・避難訓練を春休みに実施する。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・フェイスシート及び、アセスメントシートにて確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	・事例無し。 ・フェイスシートや保護者の面談にて把握し、何かあれば医師、看護師に相談する環境はある。	・今後も保護者の方に確認しながら食事提供をしていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・緊急連絡先を提出して頂いている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・定期的に振り返りを行っている。 ・話し合いの場もある。 ・職員間で情報共有している。会議有り。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・年に1回以上の研修を行い、全職員で共有している。 ・研修に参加し、適切な対応を意識している。	

	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	1	6	<ul style="list-style-type: none"><li>・事例なし。</li><li>・対象者がいない為、必要に応じて対応していく。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・必要に応じて対応していく。</li></ul>
--	----	--	---	---	--	--